

② 25分の1再び

12月議会では、議案第89号の「新座市部設置条例の一部を改正する条例」に、またしても唯一人反対しました。反対は語る会の一人だけでしたので、この4月から新座市役所には「経済観光部」という新しい部ができます。いよいよ「観光新座」が大手を振って歩き出すのです。「観光新座じゃない！教育新座だ！」を訴えている僕としては、認める訳にはいきません。みなさんの税金が、「観光」に使われていくのですから、黙って賛成など、できる訳がないのです。市民の多く(僕が思うに90%以上、いや99%以上)は観光などで新座の税収が上がるとは思っていません。殆どの方が、そんなことに我々の税金を使ってくれるな！そう思っている僕は感じています。「教育」だけにお金を使えとは言っていない。昨年12月1日現在で400名以上もの待機児童がいる保育園の問題が第一でしょう。税収をあげるには、安心して働ける環境作りが大事なのです。ただでさえ、経済が苦しいのです。雇用が不安定なのです。子どもを安心して預けることが出来なければ、能力のある人も働きようがありません。そんな時代に、そんな時に「観光」はないでしょう。違いますか？

③ 受動喫煙の恐怖

ある愛煙家が遂に煙草を止めました。ドクターストップがかかったのです。彼の奥さんは一緒にお医者さんに行きビックリしました。「奥さんは一日何十本吸いますか？」と医者に聞かれたのだそうです。1本も煙草を吸わない奥さんの肺の方が彼より酷い状態だったのです。これが受動喫煙の怖さです。我が家は完全禁煙なので、我が家に入る前に煙草を吸ってくる教え子がいます。自分が吐く息に煙が入っていると思っていないのです。煙草を吸わない人間にとっては酷い匂いです。僕は学校の先生達の応援をしていますが、勤務時間中の喫煙には反対をしています。授業を受ける子ども達が犠牲者だからです。勿論、先生達の健康も気になるのですが、結局は子ども達が被害にあうのです。血管を細く硬くする煙草の煙。特に脳が発達中の幼児や児童には危険です。学力の向上を願うのなら、まず大人が煙を吐かないことです。

④ テレビ出演

昨年の12月25日テレビに生出演しました。2時間の対談生番組で、「市民目線で市長と市議会を考える」というのがテーマでした。これはインターネットテレビという新しいメディアを利用した企画で、僕の前の出演者は熊本県、前阿久根市長の竹原さん。僕が3番目という光栄なものでした。僕がテレビに出演するのは五中時代、NHKの「おはよう広場」以来のことです。生トーク番組だったのですが、この番組を企画した山岡俊介さんや有澤有さん、そして三宅勝久さんの3人のジャーナリストの方たちとの話は楽しく、あっという間の2時間でした。この録画はいつでもインターネットで見ることができますので、みなさんも是非ご覧になってください。「たかやんの応援団」で検索していただいて、最初のページのテレビにでました！」をクリックすると、インターネットテレビの画面になります。さらに写真の少し下の部分。4分割されたアンダーバーの部分をクリックすると動画になります。一部と二部と合わせると、全部で8分割されています。

政務調査費、杉並は16万！
冷蔵庫を買うんですか？
政務調査費で？それは通らないでしょう！
新座は2万ですか・・・
そんなに違うんだ。



杉並は政務調査費の使い方が滅茶苦茶なんですよ。毎年、パソコン買ってる人がいて、毎年デジカメ買ってる人がいるんです。



政務調査費でデジカメ買ったら、報告書書かなきゃですよ。新座の行政委員の報酬は時給で計算して、これはおかしいって、言ってるんです。



読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください！ m(__)m